

(臨床研究に関するお知らせ)

和歌山県立医科大学附属病院消化器内科で抗胃壁細胞抗体検査歴のある患者さんへ

和歌山県立医科大学内科学第二講座では、以下の臨床研究を実施しています。ここにご説明するのは、過去の診療情報や検査データ等を振り返り解析する「後ろ向き観察研究」という臨床研究で、本学倫理審査委員会の承認を得て行うものです。すでに存在する情報を利用させて頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報の保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われる方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

当院における自己免疫性胃炎の現状と臨床的特徴について

2. 研究責任者

和歌山県立医科大学内科学第二講座 教授 北野雅之

3. 研究の目的

自己免疫性胃炎は胃癌や胃神経内分泌腫瘍の発生母地となることが知られているため、自己免疫性胃炎の可能性を認識し、診断することは重要です。自己免疫性胃炎を拾い上げるにあたり、その臨床的特徴について当院の患者さんの検査をもとに検討することとしました。

4. 研究の概要

(1) 対象となる患者さん

2009年9月から2021年9月までの期間に、当院で抗胃壁細胞抗体検査を受けた方

(2) 利用させて頂く情報

抗胃壁細胞抗体検査結果、診断時の年齢、性別、血清ガストリン値、悪性貧血の有無、H. pyloriの感染状態、胃癌合併の有無、胃神経内分泌腫瘍合併の有無に関する情報です。

(3) 方法

上記の調査項目を集計し、数値化が可能な項目について、平均値、中央値などを計算します。

5. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません。

6. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんには、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させて頂きます。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

7. 資金源及び利益相反等について

本研究は後ろ向き研究であり、被験者に対する報奨はありません。学会発表・論文発表における投稿料別刷代などは和歌山県立医科大学内科学第二講座の研究費より支払われます。

8. 問い合わせ先

和歌山市紀三井寺 811-1

和歌山県立医科大学内科学第二講座 担当医師 岩橋優美

TEL : 073-447-2300 FAX : 073-445-3616

E-mail : yu-mi910@wakayama-med. ac. jp